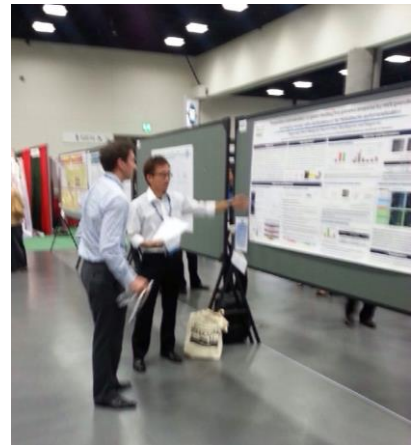


# 2014 AAPS Annual Meeting and Exposition で

## ポスター発表

本学会は毎年アメリカで開催され、広義の製剤学に属する世界中の研究者らが集うものであり、参加者は、大学、研究機関、製薬企業のみならず、原料や装置メーカーも数多く出展していた。非常にダイバーシティに富んだ学会でもあり、会場では様々なアクセントの英語を耳にした。私は今回、「攪拌溶融造粒法を用いたクラリスロマイシン高含有胃内浮遊性微小粒子の設計と評価」をテーマに自身初の英語でのポスター発表を行った。アメリカ、日本はもとより、ドイツ、イギリス、フランス、中国の研究者らとディスカッションを行い、様々な角度から自身の研究について考えるきっかけを頂いた。また、連日、シンポジウムやポスター発表、企業の展示ブースを回り、最先端の技術や研究に触れることができ、製剤学に関する視野を広げることができたと感じる。

本学会への参加は非常に有意義な経験となり、発表の機会をいただいたことに心から感謝すると同時に、今後の研究や学会発表、英語力向上への意欲がさらに高まった。



薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 創剤工学研究室  
博士前期課程 2年 青木 肇